



分散登校スタート ～学校再開に向けて準備が始まりました～

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、休校の期間が長引きましたが、ようやく感染拡大も落ち着き、学校再開の見通しがたってきました。5月18日(月)、19(火)の全県一斉の分散登校以降、本校では5月25日(月)から学校再開(6月1日)に向けて、準備を本格的にスタートさせました。クラスを出席番号の奇数と偶数で2分割して、感染対策をきっちり行った上で、午前は9時30分、午後は13時30分から登校して授業(50分)を2コマずつ行い、学校再開に向けた準備を進めています。同時に半日分の課題もスタディサプリ等を使って送信しています。また、6月1日(月)からの学校再開後は、登校のしかたは今と同じで授業(50分)を3コマずつ行う予定にしています。



1学年オリエンテーション ～高校生としての自覚と心構えを身につける～



5月26日(火)、分散登校中の午前午後の1時間を使って高校1年生対象のオリエンテーションが体育館行われました。このオリエンテーションは、高校生としての自覚を持たせ、学習に対する心構えを身につけさせるために毎年行っているもので、今年は感染防止対策のため、生徒たちはお互いの間隔を十分にとって座り先生方の話を聴きました。最初に校長先生は、「今回のコロナウィルスもそうですが、世の中は何が起こるかわかりません。こんな中で学習を続けていくことに不安を感じている人もいますが、どうなるかわからないことに悩んでいてもしかたありません。今、目の前にあるやるべきことをしっかりやって、来たるべき未来に備えることが大切です。」と話されました。この後、教務部や生活指導部等から高校での学習や高校生としての心構えについて具体的な説明を受けました。生徒たちは、緊張した面持ちで必要なことはメモをとりながら先生方の話に聴き入っていました。1年生の皆さん、今日から向陽生としての自覚をしっかりと持って、高校生活を歩み出していきましょう。

ズームを使った授業の取り組み ～3年「数学探究」選択生を対象に実施～

5月27日(水)、数学科の鈴木隆雄先生が、オンライン会議システム「ズーム」を使った授業を行いました。この取り組みは、今後、再度感染拡大がおこって学校が休校になったときに、オンラインで授業を行ったり、生徒からの個別の質問に対応できるようにするための準備の一環として行われました。鈴木先生は、自宅にいる「数学探究」選択者9名に向けてプロジェクターやホワイトボードを使い、生徒一人ひとりとやり取りしながら授業を進めました。学校としても、これを機会にICT教育を充実させるための体制整備をさらに進めていきたいと思っています。

